重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）	インターネットを通じて行政サービスを24時間365日受けられる	
施策名	インターネットを通じて行政サービスを提供する	No.55

年度	平成27年度
責任部長	総務部長
主担当課長	情報推進課長
関係課	子育て支援課、生涯学習課、スポーツ課、図書館事務局

1. まちづくり指標の現状

まちづくり指標		指標のめざす方向	現状値	実績値					目標値
			H18	H20	H21	H22	H23	H24	5年後
			H24	H25	H26	H27	H28	H29	10年後
インターネットによる行政サービスの利用者数	①電子申請システム利用件数（件）	↗	103	226	354	441	398	423	449
			423	466	458	527			1199
	②蔵書検索システムによる図書予約冊数（冊）		16,816	43,188	56,040	64,370	69,513	86,191	23,010
			86,191	96,590	145,878	151,537			100,000
インターネットサービスを利用した人の満足度（※満足度を5点満点で評価）		↗	3.5	3.4	3.6	3.6	3.7	3.6	4.0
			3.6	3.8	3.7	3.7			4.3

2. 外的要因（世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等）

これまでのICT利活用は、情報化の遅れた分野を後押しするための取組が中心であったが、社会課題を解決するためにICTを積極的に利活用する段階に移り、地域の活性化に貢献することが期待されている。スマートフォンなど携帯モバイルをはじめ、インターネットが急速に普及しており、民間では、企業のホームページ上で各種サービスの提供や会員向け情報発信などの24時間365日のサービスが一般化している。しかし、一方ではフィッシング詐欺などのインターネット犯罪や、悪質なアプリケーションによる個人情報の漏えいに対する不安も高まっている。
※ ICT:情報(Information)や通信(Communication)に関する技術(Technology)の総称。

3. めざすべき姿に対する現状評価（まちづくり指標や外的要因等からの評価）

現状評価	A 改善傾向	インターネットによる行政サービスの利用者数では、②蔵書検索システムによる図書予約冊数が目標値を既に上回っているが、前年度現状値から約3.9%増加している。また、①電子申請システム利用件数（件）も電子申請ができるサービスを拡大したことにより、前年度現状値から約15.1%増加している。インターネットサービスを利用した人の満足度においても順調に推移しており、めざすべき姿に向け改善傾向である。

評価がB・Cの場合

4. 事務事業群に対する評価（行政活動の評価）

長期成果（事業群①）	長期成果（事業群②）	長期成果（事業群③）	長期成果（事業群④）

評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の一歩手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。
評価	
次年度の改善計画	

＊＊＊